

名張市農業マスタープラン策定
に関する非農家アンケート調査
報 告 書

平成29年4月

産業部農林資源室

調査概要

1. 調査の目的

農業者ではない市民の農業に対する要望や意見を把握し、名張市農業マスタープラン策定における基本的資料とするために実施。

2. 実施時期

平成28年12月中旬～平成29年1月中旬

3. 調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した市内の住宅地住民へ郵送

4. 調査対象

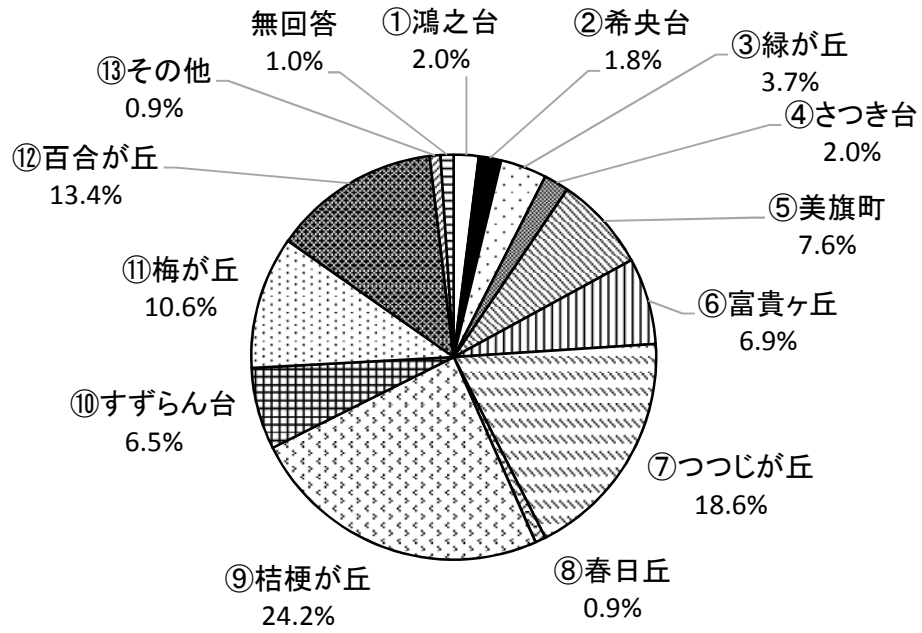
住宅地住民 2,000人

5. 回収数・率

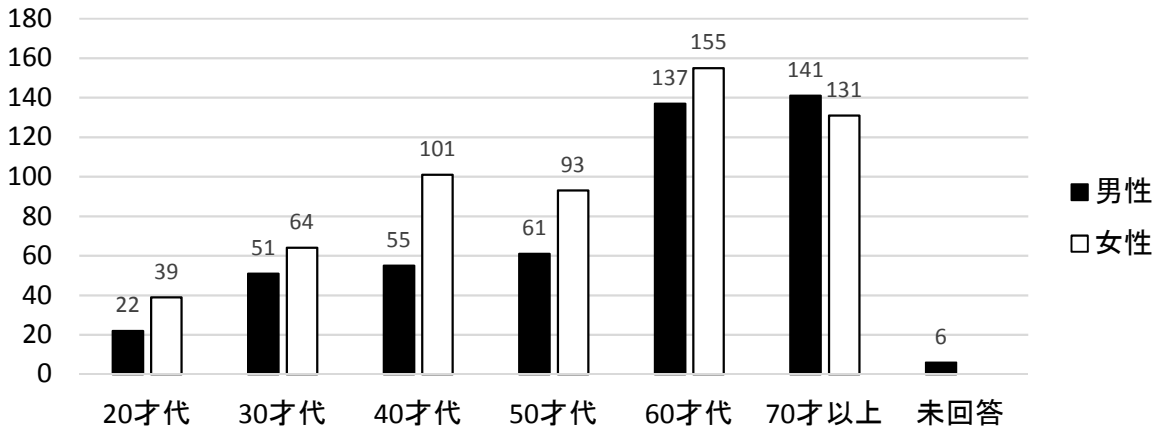
回収数 1,056人

回収率 53%

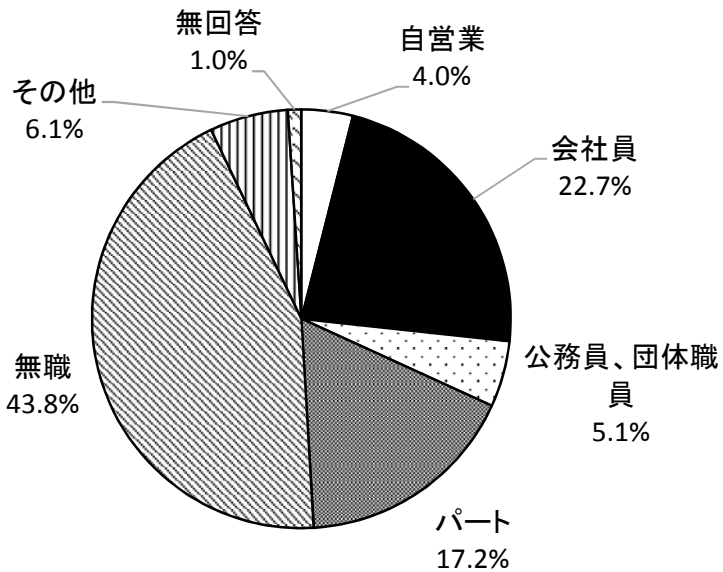
あなたのお住まいは



あなたの性別・年代は

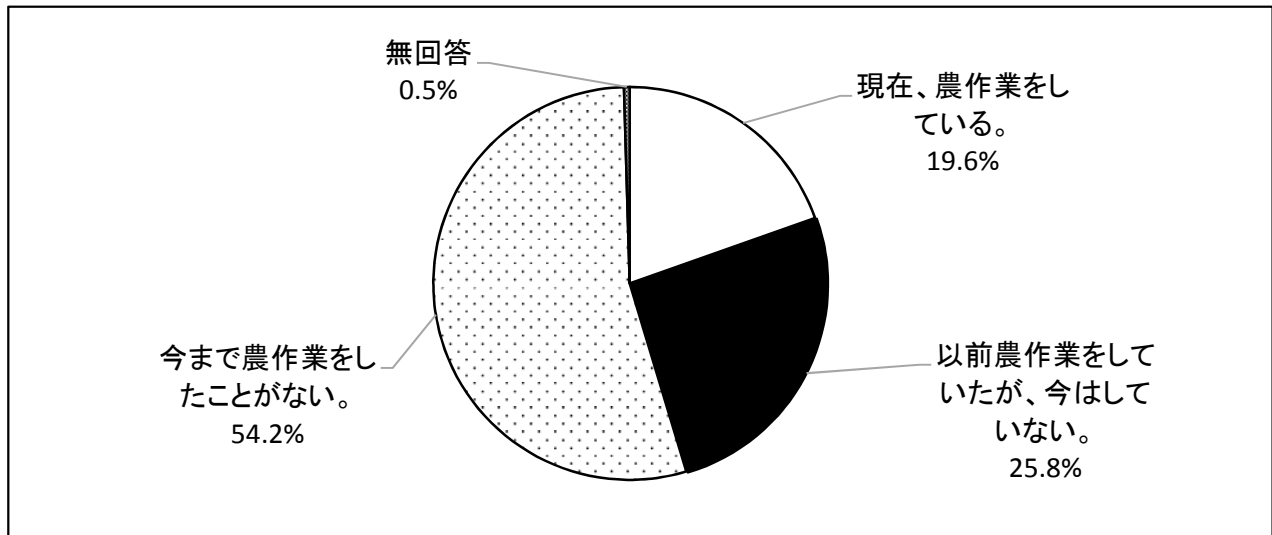


あなたの職業は



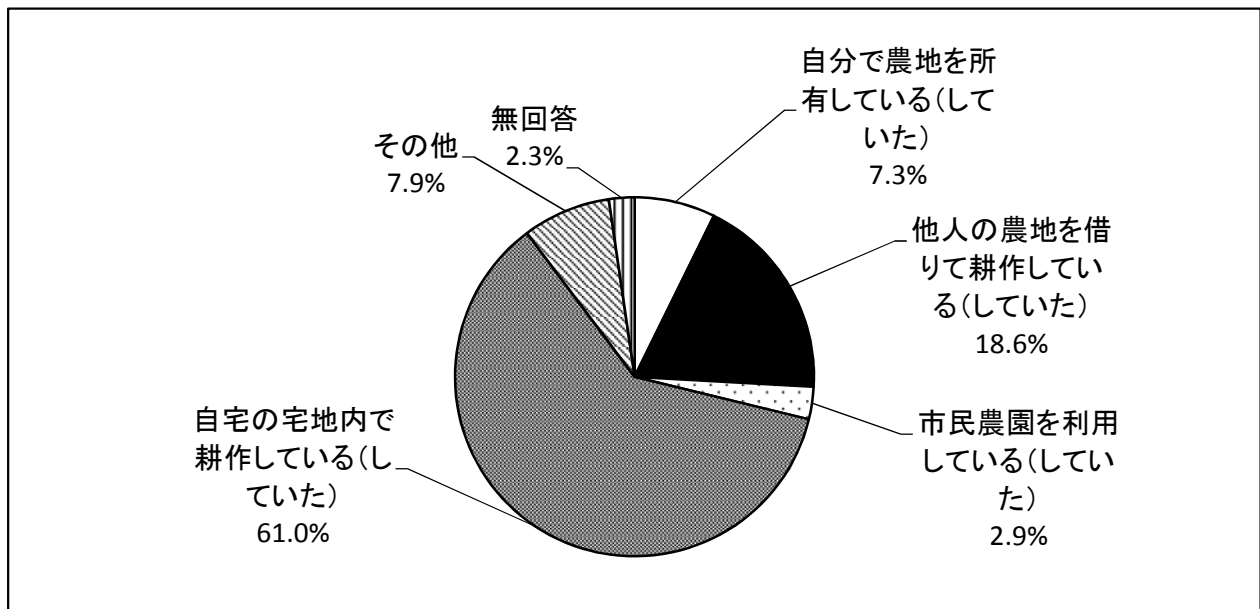
Q2-(1) あなたは農作業経験がありますか。

回答項目	回答数	割合
現在、農作業をしている。	207人	0.196
以前農作業をしていたが、今はしていない。	272人	0.258
今まで農作業をしたことがない。	572人	0.542
無回答	5人	0.005



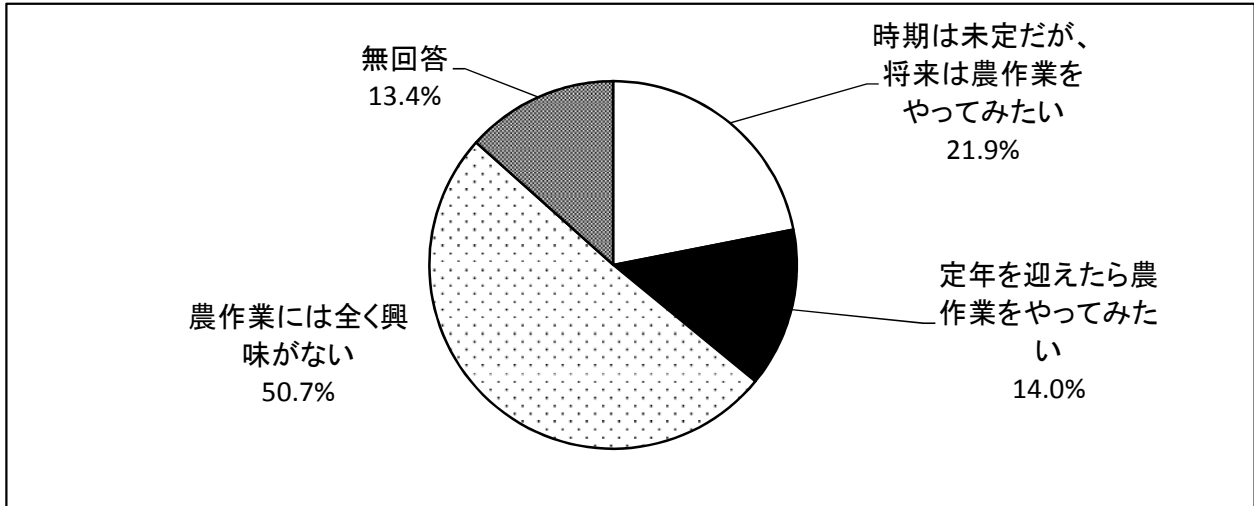
Q2-(2) (1)で①または②と答えた人
当てはまる番号1つに○をしてください。

回答項目	回答数	割合
自分で農地を所有している (していた)	35人	0.073
他人の農地を借りて耕作している (していた)	89人	0.186
市民農園を利用している (していた)	14人	0.029
自宅の宅地内で耕作している (していた)	292人	0.610
その他	38人	0.079
無回答	11人	0.023



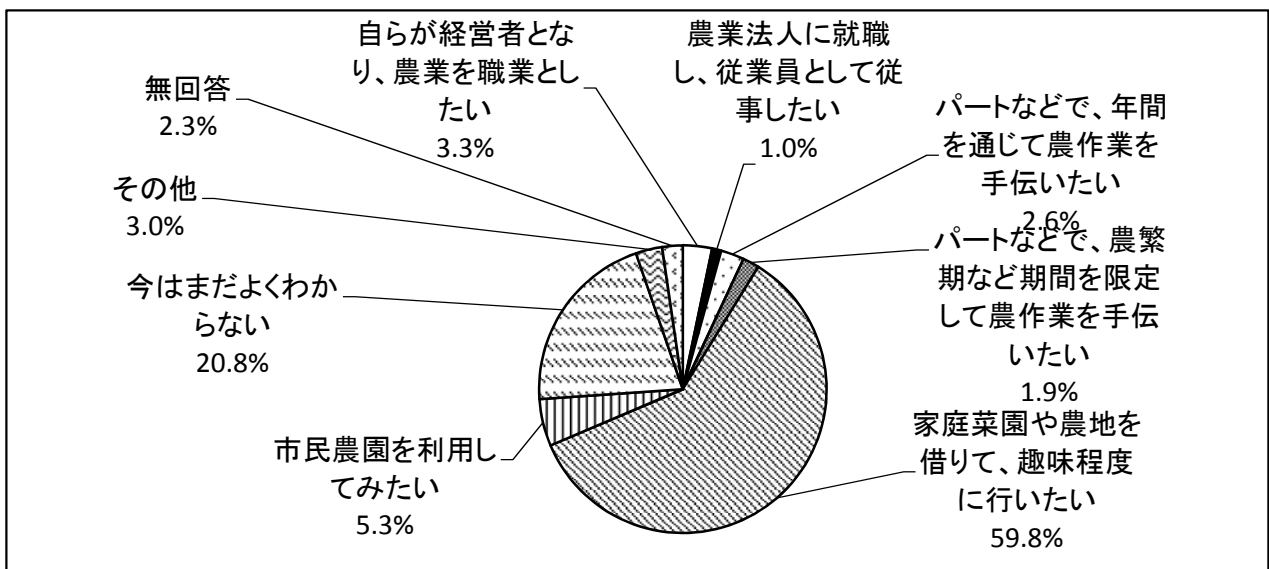
Q2-(3) (1)で②または③と答えた人
 当てはまる番号1つに○をしてください。

回答項目	回答数	割合
時期は未定だが、将来は農作業をやってみたい	185人	0.219
定年を迎えたら農作業をやってみたい	118人	0.140
農作業には全く興味がない	428人	0.507
無回答	113人	0.134



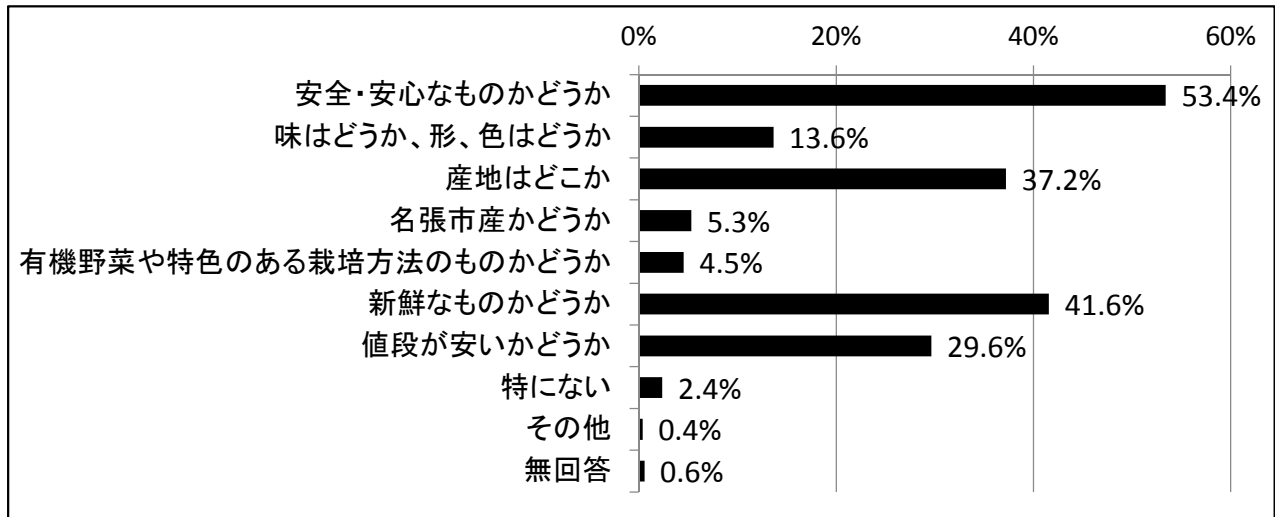
Q2-(4) (3)で①または②と答えた方
 農作業に従事するとすれば、どのような形態でやってみたいと思いますか。

回答項目	回答数	割合
自らが経営者となり、農業を職業としたい	10人	0.033
農業法人に就職し、従業員として従事したい	3人	0.010
パートなどで、年間を通じて農作業を手伝いたい	8人	0.026
パートなどで、農繁期など期間を限定して農作業を手伝いたい	6人	0.019
家庭菜園や農地を借りて、趣味程度に行いたい	181人	0.598
市民農園を利用してみたい	16人	0.053
今はまだよくわからない	63人	0.208
その他	9人	0.030
無回答	7人	0.023



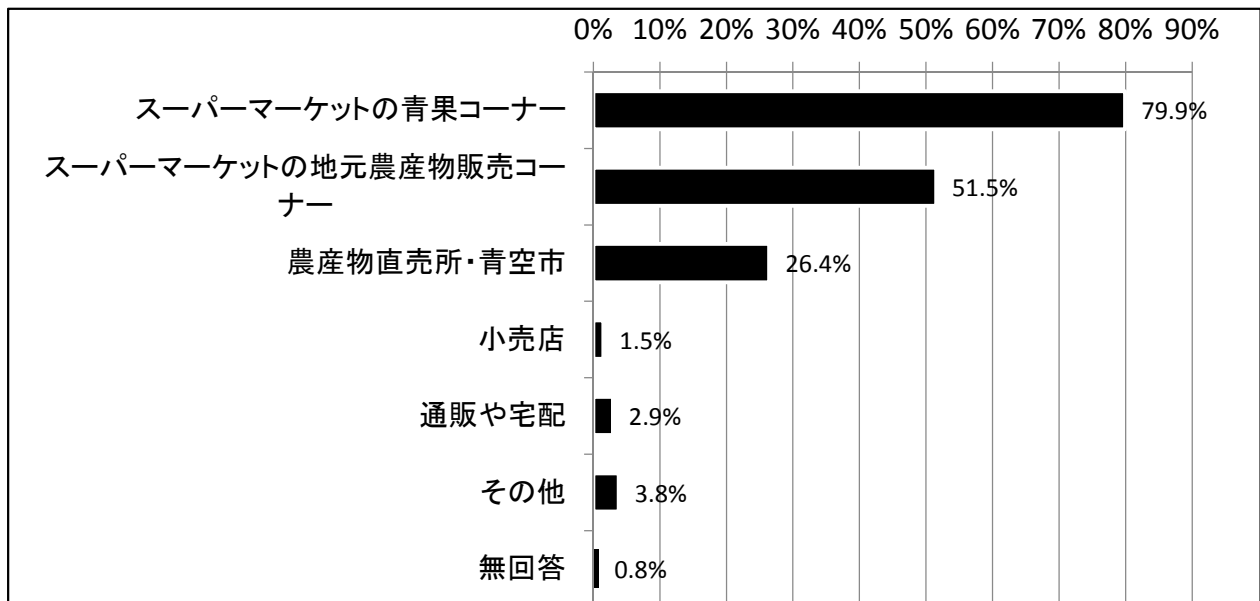
Q3-(1) あなたは何を重視して農産物を購入していますか。(2つ)

回答項目	回答数	割合
安全・安心なものかどうか	564人	0.534
味はどうか、形、色はどうか	144人	0.136
産地はどこか	393人	0.372
名張市産かどうか	56人	0.053
有機野菜や特色のある栽培方法のものかどうか	48人	0.045
新鮮なものかどうか	439人	0.416
値段が安いかどうか	313人	0.296
特にない	25人	0.024
その他	4人	0.004
無回答	6人	0.006



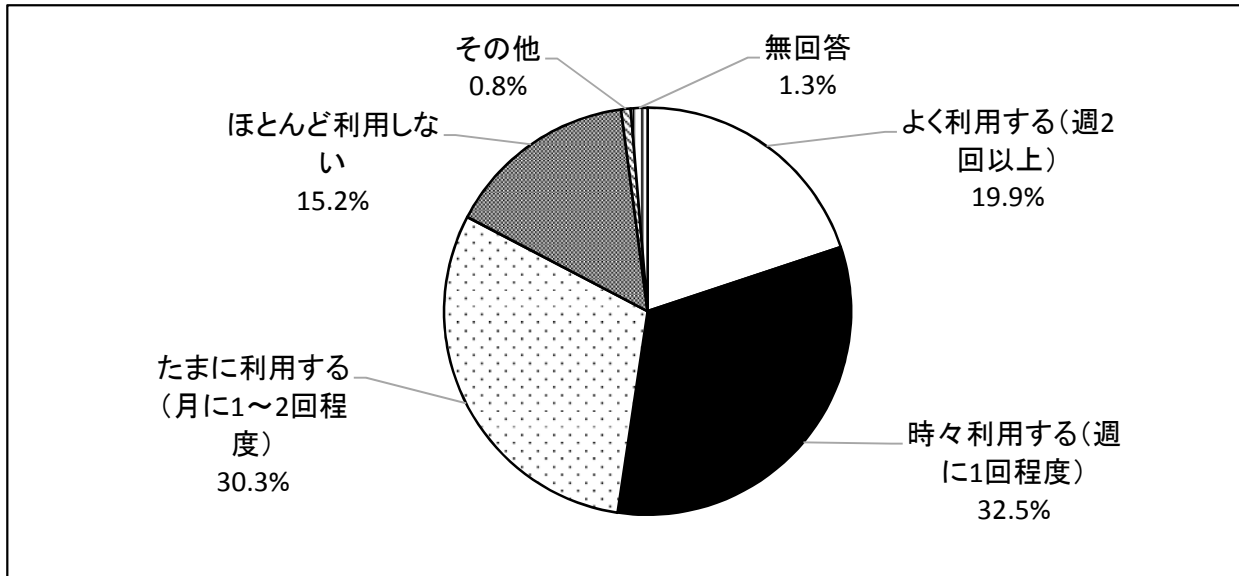
Q3-(2) あなたは農産物を主にどこで購入していますか。(2つ)

回答項目	回答数	割合
スーパーマーケットの青果コーナー	844人	0.799
スーパーマーケットの地元農産物販売コーナー	544人	0.515
農産物直売所・青空市	279人	0.264
小売店	16人	0.015
通販や宅配	31人	0.029
その他	40人	0.038
無回答	8人	0.008



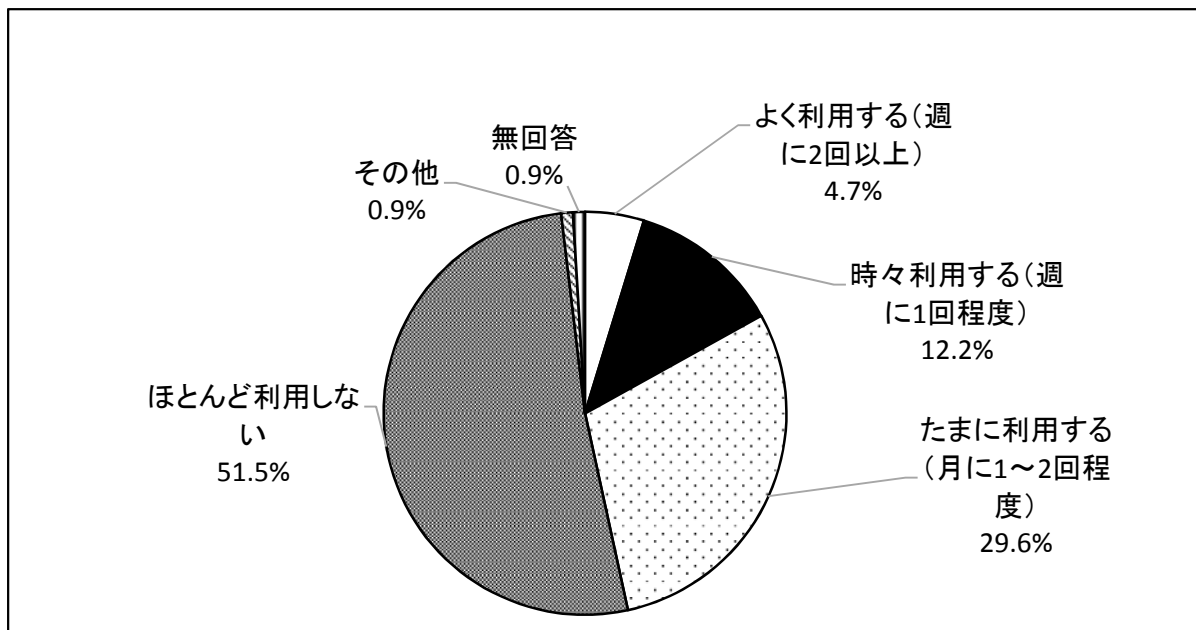
Q3-(3) あなたは、スーパーマーケットの地元農産物販売コーナーをどのくらいの頻度で利用していますか。

回答項目	回答数	割合
よく利用する（週2回以上）	210人	0.199
時々利用する（週に1回程度）	343人	0.325
たまに利用する（月に1～2回程度）	320人	0.303
ほとんど利用しない	161人	0.152
その他	8人	0.008
無回答	14人	0.013



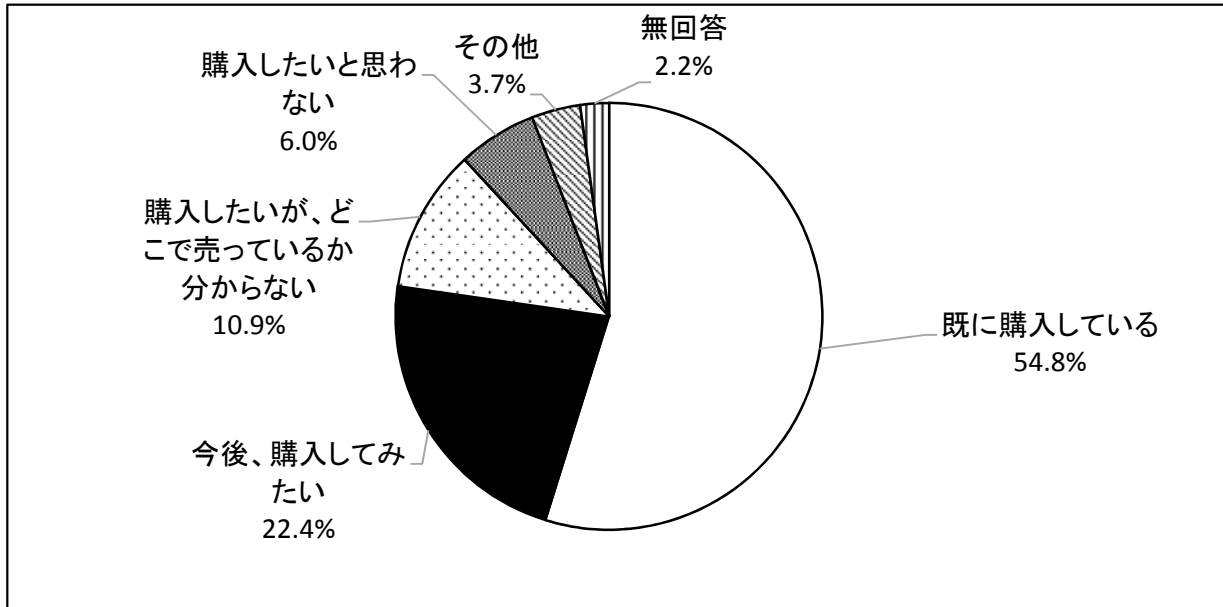
Q3-(4) あなたは、農産物直売所や青空市をどのくらいの頻度で利用していますか。

回答項目	回答数	割合
よく利用する（週に2回以上）	50人	0.047
時々利用する（週に1回程度）	129人	0.122
たまに利用する（月に1～2回程度）	313人	0.296
ほとんど利用しない	544人	0.515
その他	10人	0.009
無回答	10人	0.009



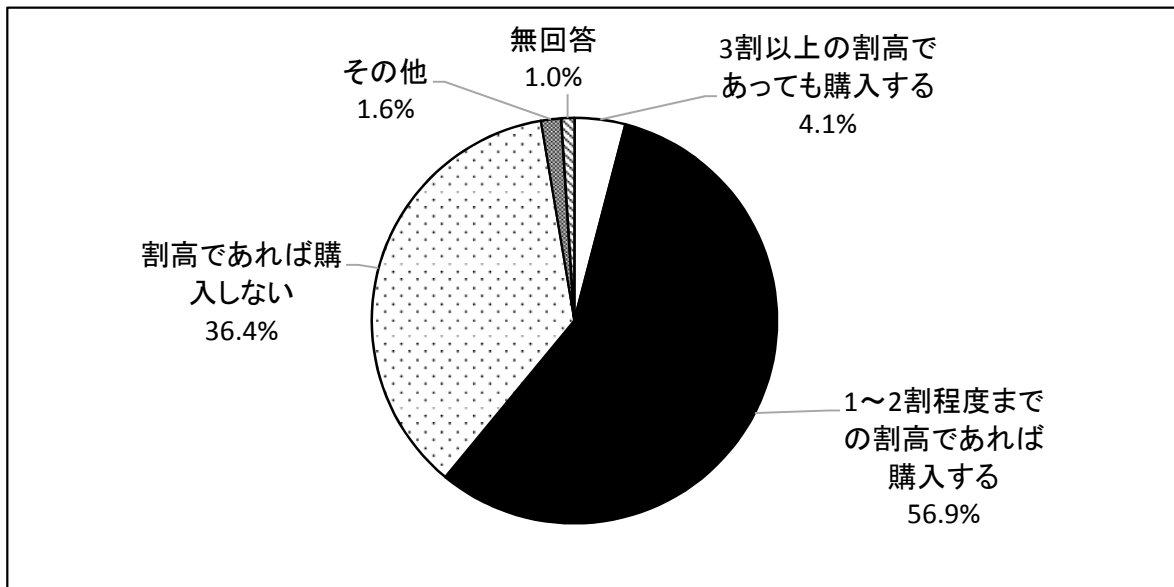
Q3-(5) あなたは、名張市産の農産物を購入したいと思いますか。

回答項目	回答数	割合
既に購入している	579人	0.548
今後、購入してみたい	237人	0.224
購入したいが、どこで売っているか分からない	115人	0.109
購入したいと思わない	63人	0.060
その他	39人	0.037
無回答	23人	0.022



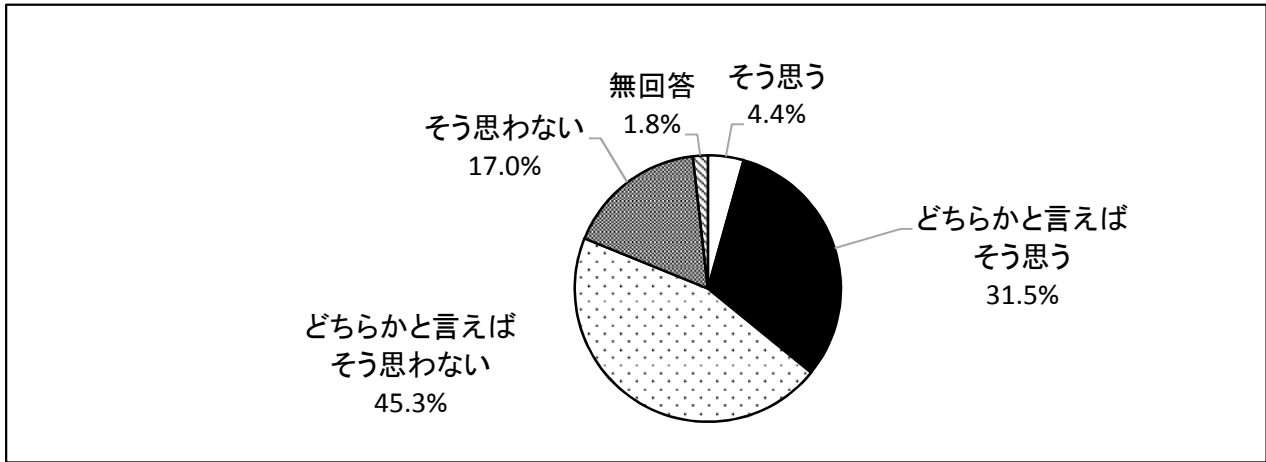
Q3-(6) あなたは、安全・安心やおいしさにこだわった農産物について、値段がどのくらい割高であっても購入しますか。

回答項目	回答数	割合
3割以上の割高であっても購入する	43人	0.041
1～2割程度までの割高であれば購入する	601人	0.569
割高であれば購入しない	384人	0.364
その他	17人	0.016
無回答	11人	0.010



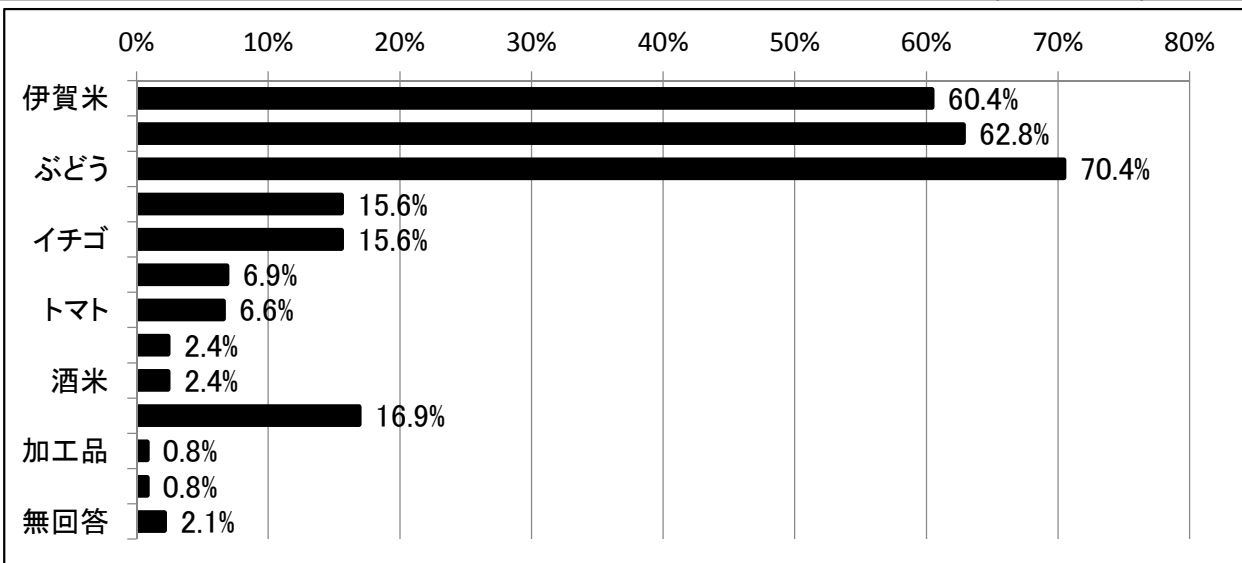
Q4-(1) 魅力のある名張市の特産物が販売されていると感じますか。

回答項目	回答数	割合
そう思う	46人	0.044
どちらかと言えばそう思う	333人	0.315
どちらかと言えばそう思わない	478人	0.453
そう思わない	180人	0.170
無回答	19人	0.018



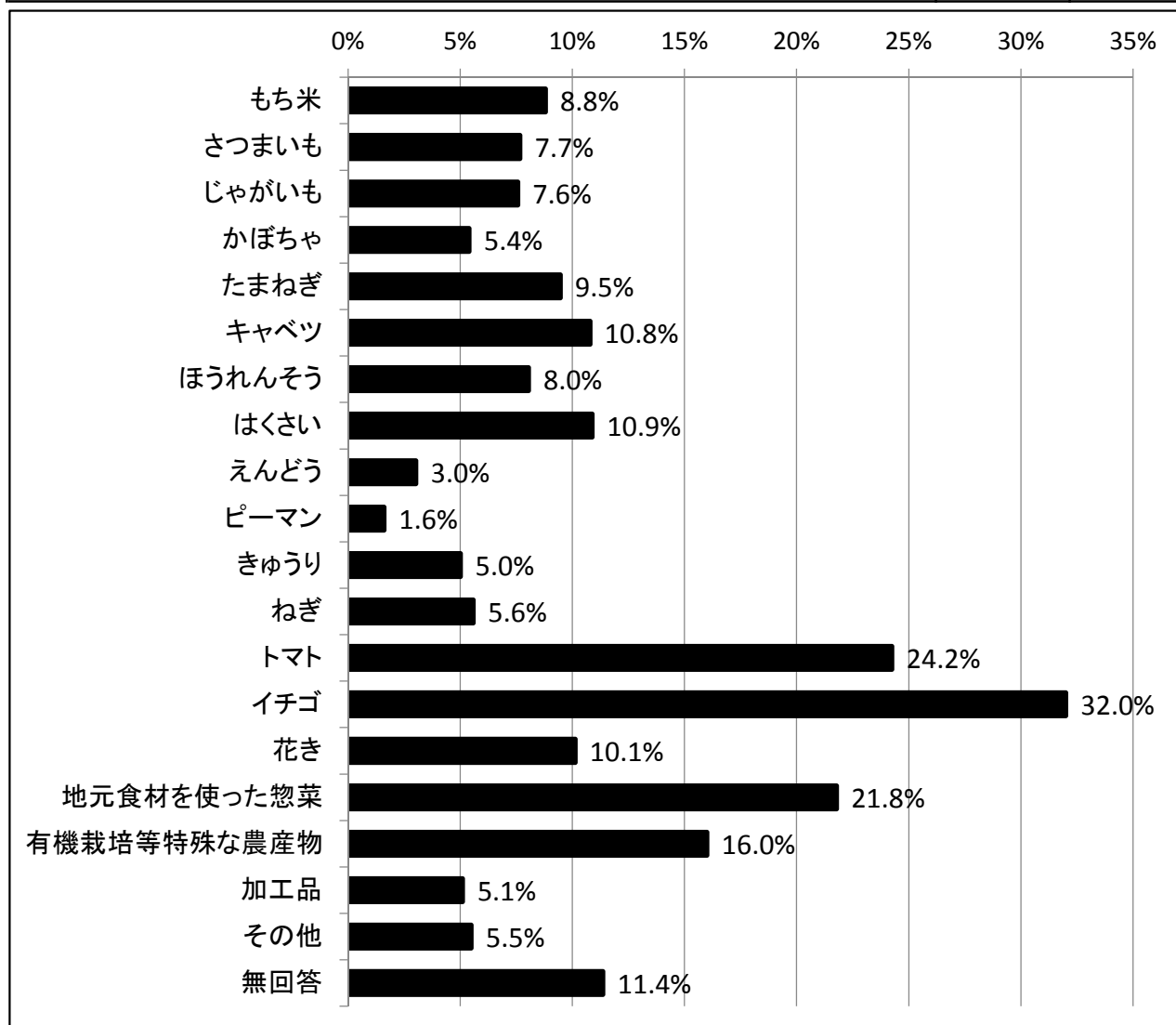
Q4-(2) (1)で①または②と答えた人
あなたが思う魅力のある名張市の特産物にはどのようなものがありますか。(3つ)

回答項目	回答数	割合
伊賀米	229人	0.604
伊賀牛	238人	0.628
ぶどう	267人	0.704
メロン	59人	0.156
イチゴ	59人	0.156
きのこ類	26人	0.069
トマト	25人	0.066
ネギ	9人	0.024
酒米	9人	0.024
日本酒	64人	0.169
加工品	3人	0.008
その他	3人	0.008
無回答	8人	0.021



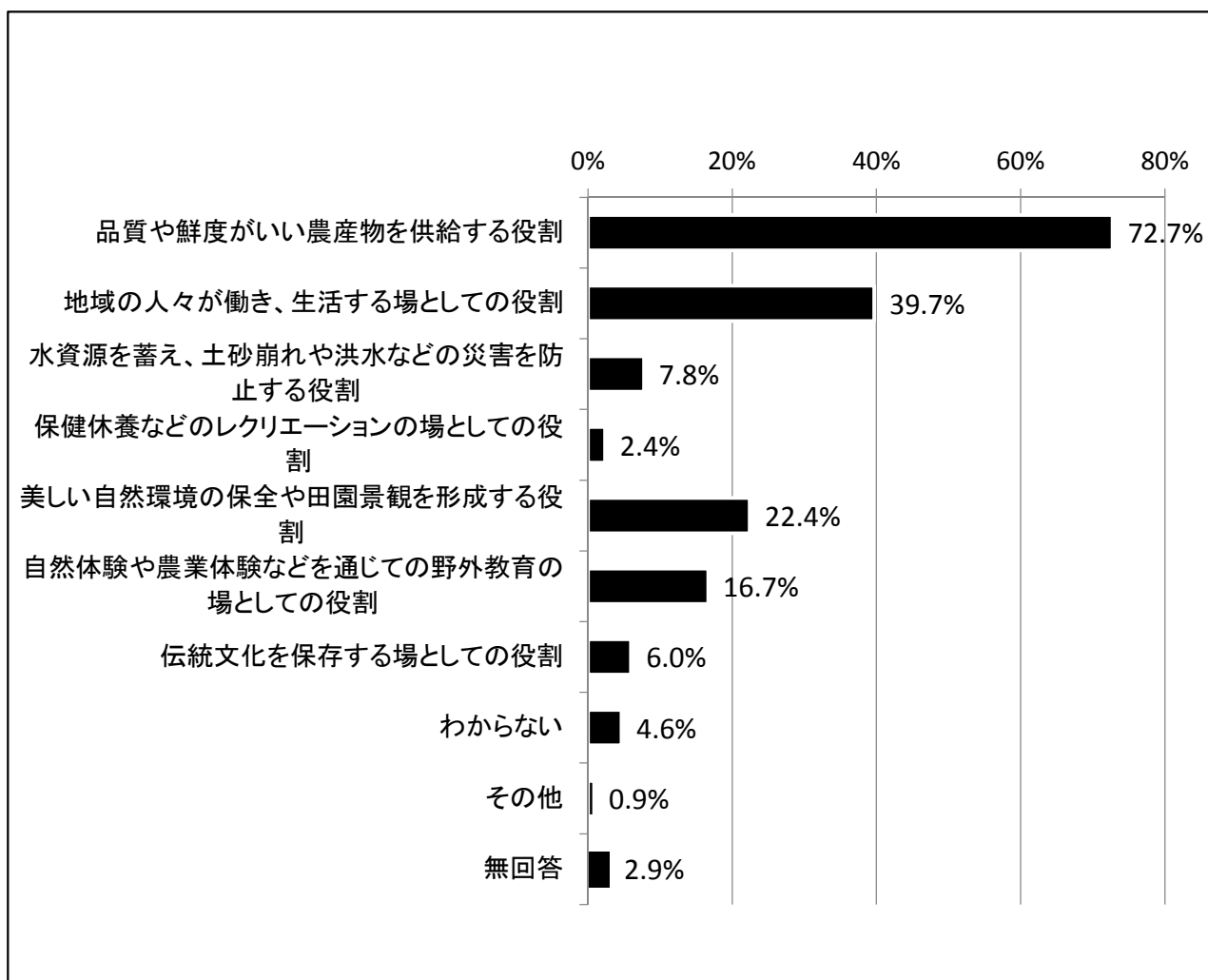
Q4-(3) 今後新たな特産物として生産、商品化に力を入れたらよいと思うものは何ですか。(3つ)

回答項目	回答数	割合
もち米	93人	0.088
さつまいも	81人	0.077
じゃがいも	80人	0.076
かぼちゃ	57人	0.054
たまねぎ	100人	0.095
キャベツ	114人	0.108
ほうれんそう	85人	0.080
はくさい	115人	0.109
えんどう	32人	0.030
ピーマン	17人	0.016
きゅうり	53人	0.050
ねぎ	59人	0.056
トマト	256人	0.242
イチゴ	338人	0.320
花き	107人	0.101
地元食材を使った惣菜	230人	0.218
有機栽培等特殊な農産物	169人	0.160
加工品	54人	0.051
その他	58人	0.055
無回答	120人	0.114



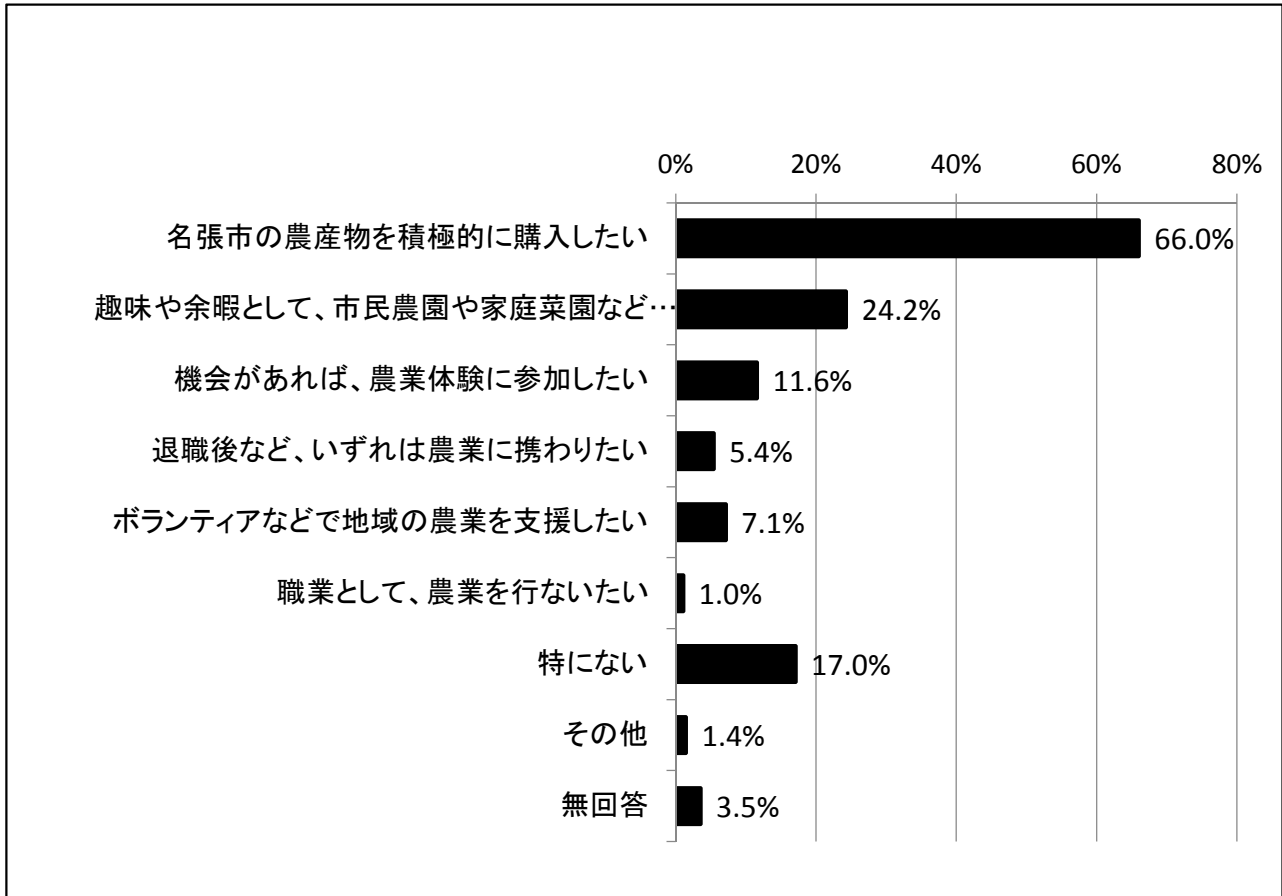
Q4-(4) あなたは、農業や農村が果たす役割として何が重要だと思いますか。(2つ)

回答項目	回答数	割合
品質や鮮度がいい農産物を供給する役割	768人	0.727
地域の人々が働き、生活する場としての役割	419人	0.397
水資源を蓄え、土砂崩れや洪水などの災害を防止する役割	82人	0.078
保健休養などのレクリエーションの場としての役割	25人	0.024
美しい自然環境の保全や田園景観を形成する役割	237人	0.224
自然体験や農業体験などを通じての野外教育の場としての役割	176人	0.167
伝統文化を保存する場としての役割	63人	0.060
わからない	49人	0.046
その他	9人	0.009
無回答	31人	0.029



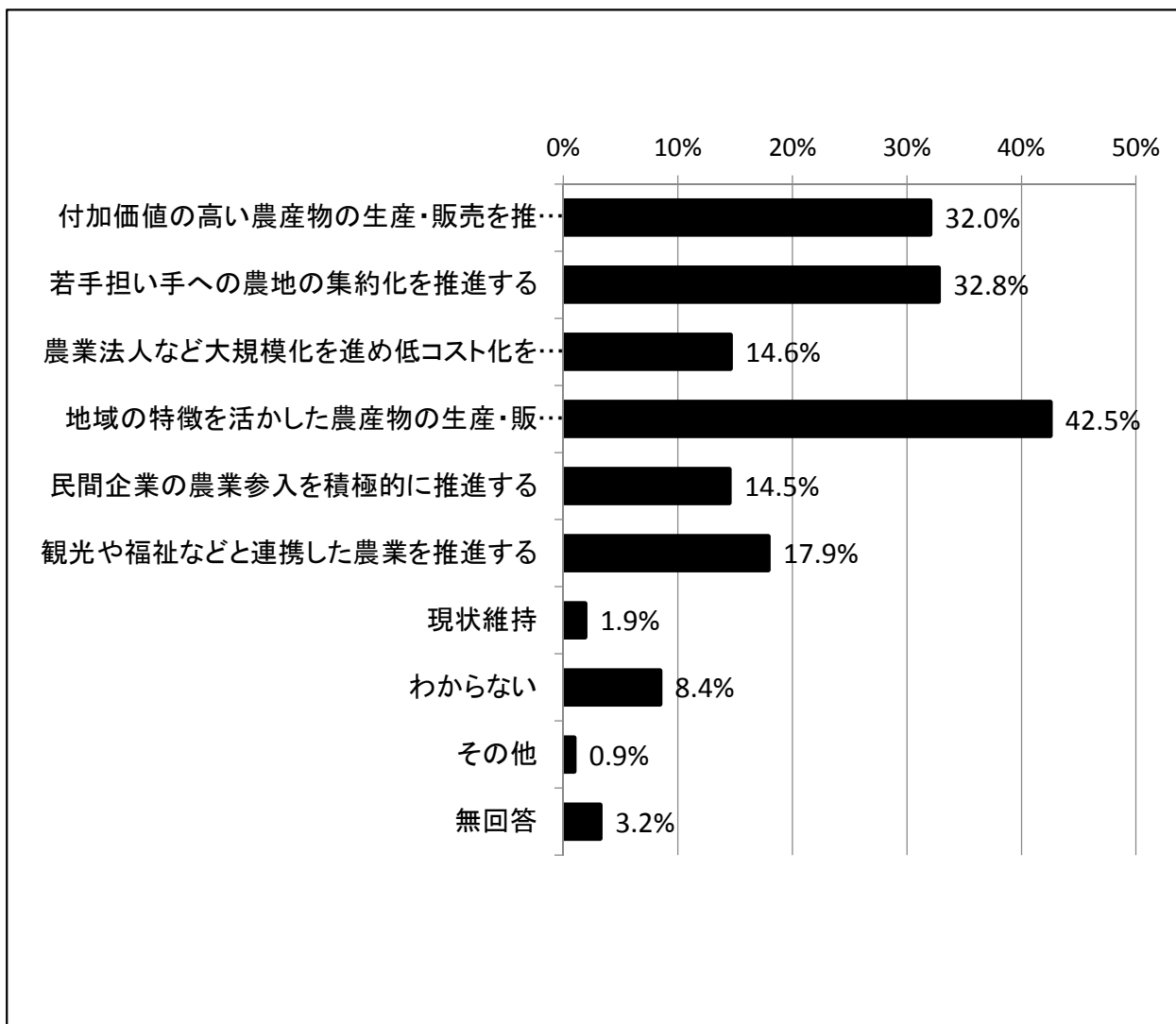
Q5-(1) 農業や農村の活性化のために取り組むことができると思うことは何ですか。(2つ)

回答項目	回答数	割合
名張市の農産物を積極的に購入したい	697人	0.660
趣味や余暇として、市民農園や家庭菜園などで農業に携わりたい	256人	0.242
機会があれば、農業体験に参加したい	122人	0.116
退職後など、いずれは農業に携わりたい	57人	0.054
ボランティアなどで地域の農業を支援したい	75人	0.071
職業として、農業を行ないたい	11人	0.010
特にない	180人	0.170
その他	15人	0.014
無回答	37人	0.035



Q5-(2) 10年後の名張市の農業は、どのようにしたらいいと思いますか。(2つ)

回答項目	回答数	割合
付加価値の高い農産物の生産・販売を推進する	338人	0.320
若手担い手への農地の集約化を推進する	346人	0.328
農業法人など大規模化を進め低コスト化を推進する	154人	0.146
地域の特徴を活かした農産物の生産・販売を推進する	449人	0.425
民間企業の農業参入を積極的に推進する	153人	0.145
観光や福祉などと連携した農業を推進する	189人	0.179
現状維持	20人	0.019
わからない	89人	0.084
その他	10人	0.009
無回答	34人	0.032



Q 2 - (2)

設問(1)で①又は②と答えた方
当てはまる番号1つに○をしてください。

⑤その他

- ・他人の宅地で耕作していた。
- ・今はしていません。
- ・子どもの頃、親と一緒に農作業をしていた。
- ・実家の農地で耕作を手伝っている(いた)。
- ・結婚する前に、家が百姓で手伝っていた。
- ・プランター栽培。
- ・家族が農地を使用している。
- ・妻の実家で米作りの手伝い、千葉の小学校でもち米作り。
- ・隣の空地进行耕作した。
- ・実家が農家をしている。
- ・兄弟の土地でしている。
- ・農業サークルに所属している。
- ・農業高校に通っていた。
- ・他人の宅地の一部耕作している。
- ・鹿児島島の祖父のじゃがいも堀の手伝い。
- ・小学校時代お手伝い。
- ・実家と仕事場にある。
- ・福祉就労でアグリ農業をした。
- ・転居した人の土地を利用。雑草等の管理を兼ねていた。

Q 2 - (4)

設問(3)で①または②と答えた方
農作業に従事するとすれば、どのような形態でやってみたいと思いますか。
当てはまる番号1つに○をしてください。

⑧その他

- ・市民農園を利用してみたい。
- ・足が悪くてしゃがんでできないので水耕栽培の様な作業を1日数時間してみたい。

- ・家庭菜園や農地を借りて趣味程度に行ないたい。
- ・実家に農地がある。
- ・今で十分です。
- ・今はまだよくわからない。
- ・自給自足。
- ・やってみたいが体力がない。
- ・将来は農作業をやってみたいと思っている。
- ・定年を迎えたら家庭菜園や農地を借りて趣味程度に農作業を行ないたい。
- ・自分の農地でのびのびとしたい。
- ・家庭で無理なくほっといても育つ植物を栽培したい。
- ・空き地があれば何人かでしてみたい。
- ・農業法人に就職し、従業員として従事したい。
- ・主人の補助をする。
- ・パートなどで、年間を通じて農作業を手伝いたい。
- ・自分で作った野菜を使ってカフェをしたい。

Q 3 - (1)

あなたは何を重視して農産物を購入していますか。(2つ)

⑨その他

- ・妻が購入するので分からない。
- ・旬なもの。
- ・新鮮で、おいしく、安いもの。

Q 3 - (2)

あなたは農産物を主にどこで購入していますか。(2つ)

⑥その他

- ・実家から送ってもらってる。
- ・野家人。
- ・百姓をしている友達からもらう。
- ・ほとんど購入せず、自給自足でまかなっている。
- ・松阪きつする黒部、青山 Accop、こうず、こもれび。

- ・ 無人野菜売り場。
- ・ 県外のデパート、J Aの産直。
- ・ 近所の農家さんから購入している。
- ・ 殆ど買わない。
- ・ みえコープ。
- ・ 農家から売りに来たのを買う。
- ・ 朝とれたてを週2回程売りに来てくれる。
- ・ 妻が購入するので分からない。
- ・ 野菜は家庭菜園の物が多い。
- ・ 生協。
- ・ 伊賀有機農産供給センター。
- ・ 主人が作っている野菜。

Q3－(3)

あなたは、スーパーマーケットの地元農産物販売コーナーをどのくらいの頻度で利用していますか。当てはまる番号1つに○をしてください。

⑤その他

- ・ スーパーと見比べて利用する。
- ・ 2ヶ月に1回。
- ・ 毎日買い物に行く。
- ・ 秋～春までは自分の畑の野菜を利用している。
- ・ コーナーがない。
- ・ 私は購入しない。
- ・ 年に数回利用する。

Q 3 - (4)

あなたは、農産物直売所や青空市をどのくらいの頻度で利用していますか。
当てはまる番号1つに○をしてください。

⑤その他

- ・車に乗れないので遠くていけない。
- ・たまに利用するが、遠いので行きにくい。
- ・場所がわからない。
- ・利用してみたいが、車を運転しないので今まで行きにくかった。
- ・全く利用しない。
- ・年に数回利用する。

Q 3 - (5)

あなたは、名張市産の農産物を購入したいと思いますか。
当てはまる番号1つに○をしてください。

⑤その他

- ・名張のものがほしいが高すぎる。
- ・購入するが価格も安い方がよい。
- ・歩きなので遠くにいけない。
- ・たくさんの中から選びたい。
- ・値段などによる。
- ・安ければ購入したいと思う。
- ・品質が悪いので購入したいと思わない。
- ・農作物を頂く事が多いので、これ以上はいらない。
- ・車の運転ができないために直売所まではいけないので、乗せていってもらう時だけ利用する。
- ・機会があれば利用したい。
- ・自分で作って食べている。
- ・安全で安値なものなら産地にこだわらない。
- ・どこの物でも新鮮ならいい。
- ・購入したいものがあるかどうか分からない。
- ・買おうと思ったものの値段と量でニーズに合えば買っている。

- ・自家用車がないので宅配に頼っている。
- ・交通の便がよくなれば今後買いたい。
- ・野菜を見ていい方を買う。
- ・自炊しないので買わない。

Q 3 - (6)

あなたは、安全・安心やおいしさにこだわった農産物について、値段がどのくらい割高であっても購入しますか。

④その他

- ・おみやげや贈り物として買う。
- ・値段が同じか、少しの割高であれば購入する。
- ・割高であれば購入しないが、なかなか売っていないものを売っていれば購入している。
- ・ほしいものならば少し高くても購入する。
- ・ものによる。
- ・経済的状況・生活環境による。
- ・農産物による。
- ・こだわらない（形の悪いものでも市場で安く売ってほしい。）
- ・実家で作っているので買う必要がない。
- ・安全・安心であっても虫食いがあるなら買わない。

Q 4 - (2)

設問（1）で①または②と答えた方

あなたが思う、魅力のある名張市の特産物にはどのようなものがありますか。

（3つ）

⑪加工品

- ・みそ
- ・ひのなづけ
- ・クッキー

⑫その他

- ・めずらしい野菜

- ・黒豆
- ・貝類

Q4－(3)

今後、新たな特産物として生産、商品化に力を入れたらよいと思うものは何ですか。(3つ)

⑱加工品

- ・きのこ類
- ・ワイン
- ・ハム、ソーセージ
- ・伊賀牛に合う焼肉のタレ（ノーマル・名張のぶどうタレ・トマトタレ・地元の味噌だれ）
- ・肉加工品、生ハム
- ・ぶどう酒
- ・牛汁（スーパーには売っていないから）
- ・豆腐
- ・牛肉料理
- ・地元産にこだわる必要はない
- ・トマト（ケチャップ等）
- ・醤油こうじ
- ・日本酒
- ・日の菜漬け
- ・ぶどう等地元果物を使ったご当地スイーツ
- ・ぶどうジャム
- ・干し野菜
- ・タケノコの水煮
- ・ポン酢
- ・地元食材を使ったレトルト食品（全国販売できるように）
- ・そば（休耕田を利用した）
- ・名張の風土に合った安定的に生産できる農作物を使用した加工品
- ・ケーキ等お菓子に使われていると土産によい
- ・伊賀牛を使った保存できるもの
- ・コロッケ
- ・味噌、お酢

- ・お菓子、和菓子、洋菓子
- ・そば
- ・国津みそ
- ・漬物類、梅、大根カブ
- ・ノンアルコールワイン
- ・米を原料にパンとかケーキ
- ・野菜のお菓子
- ・でっちゃんかん

⑱その他

- ・生菓の原料となる農作物
- ・キクラゲ
- ・他に作っていないもの。
- ・果汁 100%ジュース
- ・パクチー
- ・水耕栽培の野菜
- ・そば
- ・梨
- ・きのこ類
- ・ひの菜
- ・ぶどう
- ・薬用植物、桔梗（花としても使える）
- ・ブロッコリー
- ・高原野菜
- ・かけあわせた新種野菜
- ・ごぼう
- ・旬の山菜
- ・うこん
- ・ブルーベリー
- ・ヤーコン
- ・キュウイ
- ・アスパラ（太いの）
- ・伊賀むらさき
- ・珍しい野菜・花（群生地を作って観光地にする・SNS で発信する）
- ・なばな

- ・ヒロウス
- ・名張のフルーツを使ったワインなどアルコール
- ・アレッタ
- ・むぎ
- ・シャインマスカット
- ・果物
- ・すぐき
- ・菜の花
- ・魚の養殖
- ・鹿肉
- ・さつまいもの紅はるか
- ・大豆
- ・そば粉
- ・うどん、じねんじょ
- ・トウモロコシ

Q4－(4)

あなたは、農業や農村が果たす役割として何が重要だと思いますか。(2つ)

⑨その他

- ・名張としての特産物を作って表現すべき。
- ・名張の気候にあった作物を作って安く売ること。
- ・農産物の自給率の向上。
- ・いざというときの食糧確保。
- ・獣害があるとはいえ、散歩をしてもすべての農地に金網がはってあるのは寂しい。
- ・未来への創造の原点。
- ・安心・安全な農産物の供給。
- ・新種開発、かけあわせなど。
- ・安定した食料を生産するための役割。
- ・日本人の食を支えるため農家がきちんと生活できる収入が必要。
- ・食料の自給率の向上。

Q 5 - (1)

あなたが、農業や農村の活性化のために取り組むことができると思うことは何ですか。(2つ)

⑧その他

- ・ 営業販売に力を入れたりする。
- ・ やりたくても体力がない。
- ・ 夫が家庭菜園をしている。
- ・ 品物にレシピや栄養分を書いたものを添えて並べる。
- ・ 低賃金でいいのでアルバイトで農作業をしたい。
- ・ 実家の農業を手伝う。
- ・ 現在、農家のアルバイトをしている。
- ・ 食育指導を農業を通じて行ないたい。
- ・ 地元の野菜を使ったレシピ。
- ・ 高齢者でも働ける場所としての農作業。
- ・ ネットを利用した情報発信。
- ・ 起業は無理なので配給食・加工などに参加できたらいい。

Q 5 - (2)

あなたは、10年後の名張市の農業は、どのようにしたら良いと思いますか。(2つ)

⑨その他

- ・ 名張の名物がないので作れば良いと思う。
- ・ 興味のある方に農地を無料で提供して若い人に担ってもらえるようにする。
- ・ モクモクファームのような取組。
- ・ 品質の高い農産物を作る農家の育成。
- ・ 体を作る食べ物、命を作る食べ物として子供たちに大切なことを伝えていきたい。
- ・ 市からの補助等でより多くの方が農業に携われる機会を提供してはどうか。
- ・ 空き家を利用して他県より農業したい人を募集する。
- ・ 民間企業だけでなく多様な農業参入。

Q 6 自由回答

- ・農産物が数多くできるようになり買いやすくなったが、量が少ない。
- ・サービス精神旺盛な風工を作ることでアピールできる地域性を構築していくべき。
- ・農地の集約化、共同作業。
- ・大規模な農業策を推進して、低コスト、安全な農産物を供給してほしい。
- ・団地他、高齢化してきており、定期的に販売車が回ってもらえると助かる。
- ・1人1人ではなく、組織としての農業をして、休耕地や荒地をなくすようにしてほしい。
- ・多種類の野菜の販売を1か所に大きな場所がいい
- ・やるならもっと見える形でやってほしい
- ・販売所をより多く設置してほしい。
- ・希望を持てる職業を目指さないと定着しない。
- ・個人農業の方と話し合いし、全般の野菜を作ってもらい等級を決め、スーパーや店に出せるようにしたらどうか。収入が入るようになると若者も育つと思う。
- ・大規模なJAマーケットを造り地元産の農産物を販売する（JA奈良県が見本）。
- ・若い人達に農業の魅力を伝えさらに収入を安定が後継者づくりに役立つと思う。
- ・若い人が農業を仕事にしていくには田を集約し、安定した収入が得られるような仕組みが大事だと思う。地元でとれた食材等で惣菜を工夫する。古民家を活用し、その周りに地元の野菜を栽培して、その野菜を料理して提供する場をして特色ある運営できると思う。
- ・良質の農産物が生産できてもそれを知らないことが多い。商品のPRが重要になると思う。
- ・余りのごっぴ物が見当たらない。伊賀牛の肉は高く一般的に購入して食べられない。
- ・名張の湯で売っている青山の玉子おいしい。珍しいお菓子（砂糖、黒砂糖で固めた豆が入っている）もおいしい。
- ・市内の農家には畑があって、現在母が一人でやっている。高齢なので家庭菜園として貸し出す（無料でも）そういう仕組みがあればいい。
- ・農業、工業、商業等の区割を決めて土地活用をしてほしい。
- ・農産物直売所などで売られている野菜などは、農薬使用など、頻度が決められているのかどうか、疑わしい時がある。メロンやぶどうをよく買うが、JAタウン（ネットサイト）で扱っているけれども、名張市が直接やれば善いと思う。JAタウンだとメロンのサイズは1つしかないし、送料も直売所より高い。毎年、早起きしてメロンを数回買いに並ぶが、面倒である。
- ・農業法人など大規模化を進め、低コスト化を特に推進してほしい。
- ・名張はぶどうが有名かと思っています。美旗メロンはどうなったんですか？

やるなら他にない付加価値の高いものを作る。個人農業は限界がある。企業農業で大規模化してはどうか。まず市民に名張産の農産物をアピールする。

- ・ ネットを活用し、“名張産”をアピールする。
- ・ 今年ジャスコに地場産売り場が出来うれしくて早速買いに行きました。野菜なんか安値でした。梨もあったので買って帰り食べようと切ったところが少し黒ずんでいて食べられず、すぐジャスコへ行き返品しました。店員さんや店長にご迷惑をかけました。それを持っていく私も忙しいのに面倒でした。もう少し品質を良くして販売されることをお願いします。
- ・ 野菜や肉（ぶた、牛、とり）をもっとお安く値段を下げたい。後、お米（伊賀米）も値段をもっと安くして欲しい。くだものも安く提供して欲しい。
- ・ 消費者側に立った安全を考えてほしい。
- ・ 休耕田、休耕畑が気になるので、市役所が中心となり、市民が協力して生産できたらよいと思います。
- ・ 個人的に野菜を出しているのではなく名張全体で松阪の様な大きな市場にしてほしい。
- ・ 豆腐も特産品なのでは？伊賀牛と伊賀米は伊賀市の特産品だと思います。
- ・ 野菜の値上がりで消費者は安いものを手に入れたい思いが大きい状態ですが、地元の安全な野菜を購入できる場所をもっと増やしていただきたい。
- ・ 水栽培などの工場を誘致するべき。
- ・ 市内の産直では品質が悪すぎるので購入していない。県外のJAがやっている産直はデパートと同じくらい立派なもので皆さん誇りをもって売っている。名張の皆さんも誇りをもっていいものを売ってほしい。
- ・ 米、牛肉、ぶどう等おいしいから買いたいと思わない。高いので他の安売り商品を買う。スーパーなどで安売りしているのを見ない。
- ・ とれなばやほのぼの市等を利用しているが、将来車に乗れなくなった時桔梗が丘にも青空市を開いてほしい。観光地にもっと農産物を展示・販売するといい。
- ・ 今のところ災害もなく自然も十分にあり今の状態を大切におればいい。
- ・ 獣害対策をしてほしい。
- ・ スーパーなどの他県産の品物に比べ、価格が高いように思う。見た目で購入意欲をそそるような包装、パッケージにしたらいと思う。PR不足。
- ・ 生産者と消費者の対話の場づくり。製品の特徴や作り方の新しい工夫のあるものの説明書きが少ない。
- ・ JAの農産物販売店の野菜があまりよくない品物が並んでいる店がある。
- ・ 家庭菜園をしているが猿がきて困っている。
- ・ スーパーの中に地元野菜コーナーが定着して、買う楽しみが増している。コラボ商品開発記事などを見ても楽しみになる。農業に携わっていない人達にも地元野菜・果物の良さへの気づきの機会が今の調子で増えていけば、ますます関心も高まり若い生産者の

方も増えれば安心できる。一方で野焼きの煙に理解をと思いつつ、住宅地にある自宅にいても煙たいのが喘息もありつらいです。

- ・このようなアンケートは今後も継続していくことでもう少し市民の関心も高まると思う。企業の力を借りて農業会社として給料をもらえる体制になれば若い人も安心して働けるのではないか。
- ・迷わず名張市に「ふるさと納税」したくなるようなおいしく、ブランド力のある農産物を生産してほしい。TPPに代えてRCEPを批准しても外国の農作物に立ち向かえる優れた農産物を名張市から世界に発信してほしい。また、成長著しいアジア諸国がほしがるとようなブランド力のある農産物を名張から輸出してほしい。
- ・農産物のPRが不足しているような気がする。一般人も含めた特産市を3か月～6か月一度、市の主催でやってはどうか。高齢化による放棄地と家庭菜園をやりたい人（農地を借りたい人）の橋渡しがうまくいっていないので市が借り上げ人数を決めて募集などしてはどうか。
- ・名張市の農業政策については良く知らないが、環境の良い土地なので是非活性化してほしい。ただ新たな特産物を開発しても売れなければ一緒。そういう意味では今あるブランドをマーケティングによりどれ程市場規模が拡大できるのか、厳しい表現ですが名張の特産物と思っているのは名張人だけかも知れません。農業全体でみると地産池消費の向上のほかにはない。農業をやって食べていける経済循環をつくること。地元野菜を買いたくなる施策、消費者心理をうまく突く。
- ・美味しい伊賀米、伊賀牛、ぶどうの振興に力を入れて、活気ある名張を全国に宣伝して下さることを願っています。
- ・もっとブランド力を強化する。観光に結びつくような農業。人が集まる農業。料理教室など。農業⇒食。
- ・魅力のあるブランドの物が無いように思います。
- ・若者達が、親の農業を継いで農作業への興味と関心を持って昔のような農村のつながりを大切にしていってくれるよう願っています。
- ・地元産だけでなく、農産物全体の品質が悪すぎる。生産者、JA、仕入れ業者、スーパーの担当者等、もっと品質管理をしっかりともらいたい。へたをすると、スーパーの野菜よりもコンビニで売っている野菜の方が品質がよい事がある。
- ・特化したもので名張ブランドを計画性をもって作り上げていく。
- ・とにかく販促すべし。金にならないから跡を継ぐ者が減っているのだから、新しい農産物を企画するよりもモトからあるモノを見直し、どこにドウ売るかを考えるべき。若手新人を参入させようとしても労多くして実り少なしという結果に終わるのが目に見えている。マーケティング、新規販売先開拓、販路拡大すべし。既存農家を儲けさせよ。金になれば休耕地などすぐに減少する。新しい事をやろうとするな。旧からあるものを見直せ。さすれば道は開かれん。

- ・全国的に少子高齢化が進み、若者が少なくなりつつある現在、もっと農業に関する情報を出して、国からの支援等も考えて魅力ある農業になるよう考えるべきでないでしょうか。定年後に古民家に移住して生活している方々の情報をテレビでよく見ます。大変素晴らしいことと思います。若者の農業へ。高齢者も健康体力維持のために農作業で汗を流してはどうでしょうか。
- ・このアンケートで思います。団地に住まいしている人々、農業体験は少ないのに各スーパーマーケットのその売り場野菜土物等々、品物良く値打ちがあり、金額あれば買いますが、あまりにも品質と単価の差があります。各地の朝市がもっとありがたいと思う。朝市の場所がほしい。
- ・休耕地の多いのに驚かされます。農地としての有効活用策を考えてください。
- ・名張の土地が米や野菜等、何に適しているのかを追求し、大規模化を進め、名張独特の農業を進めていく必要があると思う。
- ・地域ごとの特性を生かした農産物の振興に津留ていただければと思う。
- ・耕作放棄地の情報や農家をやめられる方の情報がほしい。
- ・温泉や農業、名産、歴史をうまくコラボして海外・他県からの集客を考えていけばいいと思う。(ひとつずつが弱いように思うがいいものがたくさんある。)
- ・人口が減少している中、農業で生活ができるよう若い人から中高年まで農業に従事できるよう、付加価値の高い商品も必要かと思えます。
- ・そもそも名張では何が有名な農産物かというのを知らない。周知もあまりないように思う。
- ・ぶどう、牛肉などおいしいものがあるがコスト高い。効率の良い作り方ができないか、大規模（流通）な方法等検討する必要有。
- ・名張市内の農業の後継者が減少している中、民間企業の参入を積極的に推進し、若手が市内で就職できるよう企業を誘致し、名張市の活性化をはかる。
- ・名張市だけでなく、農業は大切にすべきだと考えています。
- ・野菜・米等は安く良いものを売ること。売っている場所が市民に良くわかるように広告をすること。売っている場所を回覧板を出して知らせる宣伝をよくしてください。
- ・鹿・猿の危害がある。実のなる木を増やし、杉の木を伐採し被害を防ぐ。
- ・休耕地の利用。
- ・訴求点にも順位があり、それを意識した特徴づけ、工夫、努力が必要。狙いがバラバラになっているのでは。
- ・直売所が近くにあったらいいのと思う。
- ・自分自身、農業に携わったことがなく、名張に住むようになり農家の方たちのご苦労がよくわかりました。天災や天候に左右され、ハウス栽培もあちこちで見られるようになりましたが、経費等の問題もあり難しいと思います。
- ・伊賀米、伊賀牛、ぶどう、メロン、イチゴなどは知っていますが、何か特徴を持ったも

の（他の物にない栄養価のあるもの）が作れたらと思います。

- ・小さい頃、兼業農家で育った私は自然の豊かさも知っていたはずですが、仕事をしたいと思っても面接で不合格となれば興味もなくなってきました。（ほとんど経験がないと思われたみたいですが）何でも一度はやらせてみないとわからないこともありますので、もっと地域と連携してほしいと思います。名張市の就職率が低いのもよくわかります。伊賀市は働くところいっぱいあるのに…。
- ・まだ名張市で住み始めて数年しか経っていないが、あまり農業の振興に力を入れているなど感じる事が無い。（自分が関心を持っていないこともあるかもしれないが…）平成29年度の施策でどう変わっていくか期待しています。
- ・私は桔梗が丘ですので、まだ鹿、猪等の被害は多くないですが、ほかの土地では多く、なかなか楽しくできないように思います。駆除等少し考えてもらえばもっと農業する人も多くなると思います。
- ・名張市にはぶどう園が二カ所にあると思います。ワイン工場などできたら、もっと刊行にも役立ち、名張市も発展するのではないのでしょうか。
- ・手が足りない時や、体調の悪いときにお手伝いをしていただける人を登録してもらって（前もってどのくらい作業ができるか聞いておく）必要な時にお助けしていただけたら高齢者の農家さんのためになるのではないかと。
- ・若い人が魅力を持ち、経済的にも十分な収益（利益）が得られるような市、国または民間企業からの支援体制が必要である。高齢化が継続されるシステムはよくない。
- ・いい農作物ができて、商品のアピールができなければ意味がない。メロンは高すぎて買うことができない。地元の人が購入できて「おいしい」という実感がなければ安定した「特産物」にはならないと思う。
- ・農地法の修正。
- ・最近野菜の値段が高いので安くなったらいいと思っているが、購入したとき腐っていることもあり品質管理と低価格化の推進が重要だと思う。
- ・市産、特産といっても他との違いが分からない。口にする事もない。特に安いわけでもない。直売は道の駅など国道沿いに。安心・安全の農業に獣害対策ネットでは対策にならない。冬場の田の活用はないのか。
- ・名張市の農業というのに具体的なイメージを持ってない。もう少し市全体を上げてのアピールやインパクトあるイメージ戦略等があればいいと思う。
- ・子育てが終わった若い男の人の空いた時間を農業を趣味としてする。（ボランティアやグループです）
- ・土に触れること。種をまき、育て、収穫したものを食べることは人を豊かに元気にすると思う。みんなが土に親しむ機会を得ることは名張を元気にすると思う。大阪に近い利を生かした農業はまだまだ発展する余地があると思う。
- ・スーパーの地元産物売り場とか各地に出店が増えて結構なことと感じています。

- ・メディアへの出演。
- ・もう少し名張特産品に熱を入れ応援してあげてほしい。
- ・名張市の特産物と表示する（表示がない）。
- ・市の担当者が目と足を運び地域に適した農地を推進してください。又、農業に携わっている方々とのコミュニケーションを忘れずに。
- ・政府の農政には慎重に対応してほしい。ころころ変わる政策にはうんざりである。
- ・農業を辞めていく農家が増加しているため、空地が増えている。名張市が紹介して農地を安く貸す案を考えたらよいと思います。
- ・特産品を作るのであれば、地域、土地をある程度集中、指定する必要があるのではと思います。人材育成の為には、ある程度時間がかかります。人材育成の為の農業法人を作り、給料制にして一人立ちするまで支えることが必要ではないでしょうか。
- ・名張市民へのPRが少ないと思われます。
- ・名張〇〇〇といったブランドの生産。
- ・農家の方のご苦勞は大変なことです。戦争中、疎開先が農家でした。朝から夜寝るまで畠に出て手伝っていました。農業振興に関するのではなくて、ごめんなさい。伊賀米のおいしい事。どこにも負けないと思います。
- ・休耕地等を市で借り上げ、農業経験者を募り、市運営の元、農地の休耕をなくす。
- ・低コスト・高品質の販売を推進する。
- ・若者が楽しんでやれる作物作り等を。
- ・名張市の高齢化とともに買物難民が増えると思う。宅配サービス等の推進を行ってほしい。
- ・スーパーなどでも名張産のコーナーを設置する。
- ・現在、農地を借りて耕作しているが（南古山）道が狭く危険である。作った野菜が余ることがあるので市で買ってほしい。
- ・後継者の養成・農作物の改良研究、販売・消費について幅広い視野で考えなくてはいけない。また農業に進出するような企業を誘致してはどうか。とれなば交流館に名張ブランドが食せるレストランを併設してはどうか。観光バスが来るような魅力の開発が必要である。
- ・直売所をよく利用するがレシピがついていたり、価格が安かったり良い点が多い。もっと市内に増やして料理教室など開催してほしい。新鮮な地元の野菜をもっと届けてほしい。
- ・家庭の落葉等、市民が堆肥に利用できるよう公民館などに収集用のコンテナを設置してはどうか。
- ・農福連携のさきがけとなるよう、もっと宣伝するべき。今の盛り上がりがある時期をチャンスととらえまさに今すぐ対応しないともったいない。
- ・果物をもっと種類を増やして積極的に生産してほしい。

- ・農家の方から畑を借りて野菜づくりをしているが、今年はイノシシの被害にあい大被害を受けた。これから名張市に来て就農をめざす方に永くいつまでもやってもらえるように獣害対策を十分にしてから来てもらった方がいいと思う。
- ・スーパーより少しでも安ければありがたい。
- ・獣被害が多く困っている。九州の小学校で校内でさつまいもを育てて、町の人に買ってもらったり、海外の恵まれない人々に送ったりしている。素晴らしいと感じた。
- ・地元の人が地元の野菜を使用する。(特に学校給食で)
- ・米・野菜・果物この3種に的を絞って品種も絞り機運を盛り上げる。予算確保・リーダー育成に着手する。
- ・休耕田の有効利用を市が橋渡しとなって農業をしたい人に紹介してほしい。
- ・伊賀牛等、贈物にすることにより外への発信につながる。ぶどうの伊賀乙女は生産が難しいそうだが人気なのでもっと作ってほしい。
- ・『軽トラ市』を開催してほしい。物産展等数を増やしてほしい。
- ・すずらん台西4番町にすんでいるがゴルフ場跡地と民家との空地で畑をしている人がいて迷惑している。勝手に水道が使われたし、庭を横断される。話し声も聞こえ睡眠の妨害になっている。名張市に連絡したが対応してくれない。
- ・直売所で産物の値段等をもっとアピールしてはどうか。多くの人を知る事が販売力購買力につながる事になると思う。
- ・伊賀市のひぞっこのような大きな直売所が名張にもできれば、農家の為にも市民にとっても地産地消ができ農業振興になるのではないか。
- ・名張市はすべてが高い。(ガソリン・車・農産物・生活用品)
- ・名張は古い農業のイメージがあるので、市場価値の高いものにチャレンジすれば人口流出を防ぐ効果があると思う。
- ・高家者不足の対策として、農業体験等を実施する。定年退職の人たちも農業をできるように支援してはどうか。
- ・農地の購入等の自由化。誰でも購入・販売が出来るようになればよい。
- ・小学校等、教育機関の施設の一部に農業体験をできるような場を設けてはどうか。小さいころから特産物の魅力を伝えて行く。
- ・名張市の農業の印象があまりない。米だけのように感じるので野菜もアピールが必要。
- ・都会に農業をしたい人がたくさんいる様なので広く農地を貸す、またその広報を積極的に行ってはどうか。
- ・市民農園の賃料が高い。青山のAコープの方が名張より品も豊富で値段も安い。遠くても出向いている。
- ・特産物(伊賀牛等)のPRをより積極的にすべきである。
- ・保育園・小学校等、教育機関の給食に地元野菜をもっと取り入れるべきである。
- ・他府県に対しての宣伝を強化する

- ・いかに自分たちの作った野菜をどのようにしておいしく食べてもらうかが大事。どのように食したら一番おいしいか知っている生産者が少ないと思う。
- ・魅力のある特産物がたくさんあるのに県外へあまり認知されていないのが残念。お歳暮等、他県に届けられるシステムを考えてはどうか。
- ・休耕田が多すぎる。個人の農地をまとめてやったらいいと思う。
- ・名張の野菜ということがよく分からない
- ・野菜の価格が高騰する中、地元の野菜が良心的な価格でスーパーや名張の湯の入口などで売られているのが非常に有難いです。今はそちらで積極的に購入させてもらっています。今後も引き続きお願いしたいです。
- ・もう少し若い人にも農業をしやすい市にして欲しいと思います。高齢化の為、やめざるを得ない人が増えているから。
- ・市場の品物が少なく感じる。(特に冬場) 若者の農業参加が少ない。特に若い女性が携われるような魅力のある農業に導いてほしい。
- ・名張駅～桔梗が丘駅は企業誘致により税金を集め、美旗・赤目地区は農業を中心に法人・民間企業の協力をもって農業を維持し、地域を分割し市民の雇用を増やす事を考えてほしい。農業の後継者がいない現実をもっと知ってほしい。
- ・特に野菜についてですが商品として価値がないだろう物を出している農家の方の気持ちがありません。買いたくなるか考えてほしい。だから名張のものは買いません。
- ・若者が農業に興味を持てるような仕事があれば良いと思う。ハウスの野菜作りは若者もやりがいが見いだせると思う。
- ・老人世帯であるので、私たちのような世帯に向けた販売方法・対策をしてほしい。地産池消としても消費者に届く情報発信を求める。
- ・コンセプトを強調した農産物がない。ブドウにもっと力を入れて(価格を下げる等)すべてが中途半端に感じる。
- ・とれたて名張や各スーパーの地元野菜のコーナーはとても良いです。ほとんどの野菜はそこで買っています。品質値段ともに満足いくことが多く今後もさらに充実することを望みます。亡くなった父が畑でつくっていた野菜の味が忘れられません。自分も自由な時間ができればぜひ畑仕事をして少しでも父の味を再現したいです。大きく地元へ貢献はできませんがいつも心をよせています。名張の農業に期待しています。
- ・若年層の人材確保が大事だと思うので、いかに定着させるか考える必要がある。
- ・街づくりの一貫としてつつじヶ丘市民センターで朝市を開催しているが後継者が育成され引き継がれていくことを望んでいる。新鮮・安心・安価な農産物の提供をしてほしい。
- ・伊賀牛は値段の割においしくない。美旗メロンは販売方法の改善を。特産物が普通すぎる。
- ・妻が人手の不足している農家があればアルバイトをしてみたいと言っていた。(運動不

足解消にもなる)

- ・国産かつ安価であると良い。
- ・利益のでる農業の推進。後継者を育成して後世に残してほしい。
- ・親子の農業体験を実施してほしい。食べ物・農業の大切さを知る機会になる。
- ・日本ブランドの農作物が世界で注目される中名張ブランドの農作物が発信能力を高め収益を上げることを期待する。
- ・低コスト化を推進する。
- ・名張市特産の野菜をいろいろと作ってほしいです。今はぶどうやコメを身内の人たちに送っていますがまたちがった物も送りたい。
- ・名張市の農業に対する情報もあまり入っていない気がします。市報などの情報誌など見るようにしています。農業や産業においても市が発展する施策としていろいろ考えていかないとイケませんね。
- ・各スーパーや直売所等比較的作物が手に入りやすいのはありがたい。そういった売り場をどんどん増やす、スペースを広げる等生産したものをたくさん売れるようにするといいと思います。
- ・なるべく名張でつくられている農産物や加工品を購入したいと思いますが高かったりありふれたものだとつい他の産地のものを購入してしまいます。野菜とかはできれば土がついていても形がいびつでもよいのもう少し安く販売してほしい。(固定ファンを作る)加工品もいまいち。農業イベントなどを通して広く那波のこと名張特産物のことを広められたらよいと思います。公募型農業体験加工品作りなど『名張市』自体あまり知られておらず認知度が低いと思います。農家出身の市議とか多いですが何をしているかわかりません。自分(利益)のことだけでなくもっと広く市の為に農業振興の為に仕事をしてほしいです。
- ・ブドウ狩りのようにシーズンになったら近鉄沿線の駅でいちご狩りも宣伝して名張市の観光に役立てたらいいと思います。あと田植と稲刈り体験で会員を募集し休耕田を市とJAで運営し会員からは年間費をもらう代わりに伊賀米を食べてもらったかどうか?同じ三重でも伊勢の方の知り合いで同じ三重の米とは思えないくらいおいしいと言っていました。私は名張生まれなのでたくさんの特産物を新たに商品化してもらえることを願います。
- ・スーパーで名張産のものは見ますが生産者の御顔が分かればもっと親しみをもてるかと。スーパー、とれたて名張、JAなどでふれあい対面販売のイベントをしてほしい。
- ・団地の傍らに無人野菜販売所を設置し、登録した住民が作った野菜を販売できるようにしたら振興に少しはつながるかと思います。
- ・若い人 年配の人と共にできるシステムの構築 流通の確保。
- ・名張市の特色が分からない。
- ・とれたて名張交流館は狭いと思います。客がすれ違うのに十分な通路幅がありません。

扉も手動だったと思います。自動になればと思います。

- ・地元の農産物の販売所をもっと増やしてほしい。スーパーとかに。それと宣伝が少ないと思います。わたしはどこで販売しているか全くわかりません。現在イオンにあるのは知っています。
- ・とれたて名張交流館が近くにあり新鮮な野菜が購入できてありがたいです。
- ・直売所を時々利用させてもらっているが味に（生産者よって）バラつきがある。新鮮ではあるが野菜本来の味がしない時がある。土にこだわってもっと野菜本来の味がするもの。有機野菜が増えるといいです。コストが高くなっても体に安心なものを買いたい。
- ・気づきではないのですが今回アンケートをして改めて名張の農業に関して興味が出てきました。つつじが丘も農業をしている人が多くいてこれからあっと驚く特産物ができるかもとワクワクします。
- ・1.汗と喜びの体験→小中高生に農業体験をしてみよう。2.人手不足と高齢化→低料金での機械の貸与ボランティアの募集 3.儲けることのできる農業→農業法人による規模拡大。民間企業の参入。4.健康に直結するといわれている野菜の栽培と PR→春菊・自然薯・ニンニク等（畑の風邪薬・畑のステーキ・ガンに効用）
- ・安全でおいしい農産物を食べ健康になりたいと思います。年金生活ですのでもちろん安いもの。
- ・今は60代後半で車にて店に行き購入することができますが10年度は不安！（車の運転は無理ですね）各州の宅配野菜を利用していますが（野菜好きになりました）将来のことを考えると移動販売車などあるといいなと夢を見ております。平成元年名張に転居したころ野菜だけではありませんが移動販売車が来ていた。大変助かった事を思い出します。
- ・農業従事者の高齢化、後継者不足の現状を考えると農地の集約化を進め産業として効率化を図るべきだと思う。市が積極的に大規模化に関与するべきだと思う。
- ・体験型農業を通して仕事として成り立つシステムを作れば、従事者はおのずと増える。しかし、補助金なしでは現実的には難しいと思う。
- ・過疎化の荒地の利用を考える。名張市地産の野菜類の販売場所が少ない。
- ・大都市で名張の特産物をアピールするために、名張出身の有名人に協力してもらい名張の特産物だけでなく名張を売り込み多くの人に来てもらえるようにして欲しい。
- ・スーパー等で売っている品物に比べて中間マージンが少ないはずなのに値段が高いのはなぜでしょうか？地元産は新鮮で安いというイメージがありますが。
- ・いちご狩りや、ブドウ狩りは近くて行ってみたいが値段が高い。市内の人にはもう少し割引があれば良いと思う。県外の観光客むけではなく市内の人も楽しみたい人はいっぱいいると思う。
- ・伊賀のようにオーガニックフェスタなどで料理教室や名張の生産者農作物の魅力を伝える場所があつてたくさんの人たちが楽しめたらいいと思います。すでにあつたらす

みません。

- ・直売所は遠いし青空市等いつ行っているかも知らない。お米やお酒もブランドとしても通用すると思います。毎年子供が県外に住んでいるので米はとれたてのものを送ったり、お酒もおいしいというので贈り物にしたり、ぶどうはお中元として送ると大変喜んでもらうので利用しております。
- ・地産池消の安全で新鮮な農産物はそれだけで十分魅力があると思っています。産直の農産物は季節感を感じることができ栄養価の高いときにお手頃に手にはいるのでとても有り難いです。
- ・日本一になるような特産物を生み出すべき。
- ・地元の人々の雇用先として農業の企業が設立されると良いのではないですか。若い方の都会への流出が減るのではないかと。
- ・農業を振興しているイメージが薄い。
- ・地元の名産物を利用して頂いてとても安心で便利です。季節野菜以外の商品ももう少し品数が増えればよいと思う。
- ・農業分野だけでなく漁業、林業、水産物加工・・・観光やスーパー及びサービスなどの関連分野との連携が不可欠ではないかと。
- ・地道に今続けていることを継続してPRしつづけていくことが大事だと思います。
- ・名張の土にあった野菜ってなんですか？例えばじゃがいもは九州より北海道の土でとれたほうがおいしいです。アスパラはスーパーでしか買ったことがないので名張産のアスパラとてもおいしかったです。気候に合うか分かりませんが外国産のレモンは菓子がいっぱいかかっていて使う気にならず、最近広島産のレモンがまわっているのをそれを買っています。
- ・もっとおおきな道の駅みたいな施設。
- ・地場産の野菜は新鮮で安価で旬を味わえるということで交流館ができるまでは青山まで通っていました。名張に交流館ができ喜んでます。スーパーで見えても地場産コーナーのファンは多くまずは地場産コーナーをのぞいてみる人が増えてきていると思います。消費者としてはもっと場所を提供して頂き名張の地場の野菜で生活できるようになれば健康促進にもつながると思います。
- ・名張には特産物がたくさんありますがあまり他県に知られていない、宣伝がない。どしどし他県にいき宣伝してほしい。特に伊賀米・伊賀牛がおいしいのに。
- ・市の人口を総体的に増加させる様な施策を推進する、住環境・生活環境・利便性の向上（道路・鉄道等）、振興産業などの誘致の可能性を探る事、人が増えることを計りながら農業規模の拡大を進める安心安全の農産物の大量生産、低価格化による魅力を主体にすればブランド化はおのずと達成されると思います。
- ・名張市の農業の現状を知らないのだからわかりません。
- ・現在、農産物生産業者が個人で考え行動しているのが実情と思われれます。名張市が計画

を考えて前向きに積極的に考え生産者を支援していくことが市民にとっても大切なことだと思います。名張市の発展を切に祈ります。

- ・とれたて交流館をもう少し充実させてほしい。
- ・小さいころからもっと自然にふれあう機会が多くあるべきだと思う。自然から学べるのが生きるということにつながると考えます。その延長上に農業を含めた第一産業があると思います。日本には資源や土地が限られてるので第一産業をないがしろにすると日本の未来は暗いと思います。
- ・地産地消の人がある地区です。技術指導などで成績を高め農業で生活ができるようにされたい。若い人が外に働きに出ずとも近場で生活できる収入が生まれる使用を早く見出して安心して根付けることを望む。
- ・実家やそのまあ割りは野菜は自給自足ですが私自身野菜の育て方の知識がなく結婚してみんな家を出ていくので 20~30・40 代の方は畑仕事を知らない人が多いと思います。自分の親から教わる事も大切だと思います。また病院の先生も「地場産のものをとるように」と言われていて名張市の農産物をどんどん増やしてほしいです。
- ・各地のイベントに参加する、全国ネットのCM。
- ・息子が農業で生活できるのなら会社を辞めたいといっています。60・70代でまだまだ昔の教えでいる人もいます。生活しにくい所です。
- ・農業を楽しんでいられる方々からよく聞く嘆きは作物を作って収穫直前に獣害によって台無しにされて悔しい思いをするということ。振興策もだいじだが獣害対策を一層重要。最近罨を見かけるようにはなったが。
- ・農業法人が一番と思う。
- ・市がもっと農家への支援をしてみては？
- ・名張産の野菜がスーパーで売られていますが大きさや形が不揃いや異形のものが売られているような気がします。その割には値段もそんなに安くなかったりしています。市場にだせなかったものを地場産として売っているように思えます。
- ・スーパーなどに生産者の名記入りのいろいろな農産物がたくさんあったらいいと思います。
- ・ブドウ園、青蓮寺ダムをキャンプ場にする。近隣の方、大阪や他府県の方のドライブコースにキャンプ場、温泉を利用していただく。イチゴ、トマト、スイカは大阪で徳島、熊本等のいろんな地方の物が選んで買えるので味が名張のは少々落ちる。重たくても、持ちにくくても大阪で買ってしまふ。
- ・名張の湯でとれたて野菜の即売はいいと思う。もっと名張の農産物を PR してほしい。
- ・誰しも新鮮な野菜を希望していると思うのでいつでもどこでも購入できるようになればいいと思います。
- ・伊賀地方はG7サミットで採用される日本酒もできるほど恵まれた水質と気候があると思われるので、風土に合わせた農業を行えば必ず魅力的な作物ができると思います。

- ・歩いていると畑におられて農作業されてる方を見かけますが、ほとんどの人が高齢者です。荒れ果てた農地を見ると、もったいない気がしますが、いざ自分がしようかという気にもならず、農業の大変さを子供の頃に経験しました。今現在は、動物による害も多くなっていますので難しいと思います。少しでも、農業される方が多く増えることを願います。
- ・このアンケートを記入するにあたって、実家から野菜、米をもらっているものとしては答えづらかったです。
- ・農業と聞くと閉ざされた世界のイメージが強い。事業意識を高め、事業として成立させるために新しい開・製・販の仕組みの再構築に向けた創造と挑戦を期待した。
- ・高齢化している現在、若い人が農業を継いでほしい。
- ・建物の中で作る野菜等も増えていけばいいと思います。
- ・名張市特産の農産物を使ったレシピ、郷土料理で名張市特産農産物のPR。農産物づくりのなんでも相談室利用のPR。
- ・若い世帯での農業従事者が増えるような仕組み。これ以上緑（自然）をなくさないよう希望しています。あちこちの休耕地や松枯れが気になります。
- ・伊賀でなく、名張と付く農産物、特産物を考える。
- ・太陽光発電をこのまま計画なしに進めることに疑問をもっています。自然エネルギー確保は大変大事なテーマです。市民にその計画性を明らかにしてほしい。
- ・とれたて名張などに行っても、魅力を感じられない。他では手に入らないものがあればと思う。
- ・荒れた農地の活用、地域・地形に沿った特産物の開拓、若者が従事できる農作業の振興。
- ・農薬、農業機械・器具について、JAとホームセンターとの値段を調査、比較、検討して市民に論文を公表せよ。
- ・休耕地を利用してブランド力が高い野菜を作り、若者に農業の会社組織を作り、競争力を付けてほしい。
- ・ほとんど野菜は食べないのでごめんなさい。
- ・安全・安心と思っていながら案外農薬等使用されているのでは。
- ・市民が借りる農園について安く、指導者付きで安全、安心にできる野菜、草花があればいいのではないか。
- ・奈良や三重の他の地域で様々な取り組みがされています。連携したらいいと思います。
- ・若い人が農業にもっともっと感心をもってもらいたい。
- ・地域の農家の方の紹介（パンフレット）や農家の方から顔を見て購入できるようなイベントをしてほしい。そして農家の方に何が大切か教えてもらいたい。
- ・農業に携わっている方の意識改革が必要と感じる。伝統を守ることも大切であるが水利権など改革できることも多々あると考えられる。個人の利益を守るだけでなく広い視野で農業を考える必要があると思う。

- ・農業従事者の高齢化が進むので若い人の参入促進を積極的に行ってほしい。耕作放棄地がアパート建設にならないような対策をしてほしい。
- ・リバーナの中にできた地元野菜販売は野菜だけでなくモンパクトルなど、ケーキも売っているのすごくいいと思う。なので他にも色々なお店が小規模で商品を出店してほしい。
- ・結婚し、15年名張で生活していますが、農業もそうですが子育て中であり、環境的なものの安定があまり感じられず、今名張市に魅力を感じられません。少し前より田舎への移住生活を考えるようになりました。